

赤い、かんきつ夕焼け姫 今年から「あかね夕焼け姫」として 出荷をスタート！

JAひまわりみかん部会（楯勅治（たけときはる）部会長）は、昨年に引き続き、愛知県農業総合試験場が開発した品種、「夕焼け姫」の出荷を始めます。同部会は、平成24年から他産地に先駆けて、試験栽培を開始し、平成30年から出荷が始まりました。夕焼けの様な赤い色と食味の良さが大変人気です。

「夕焼け姫」は、露地栽培（マルチ無）でも生産できますが、糖度が高く市場評価も高いマルチ栽培を推奨されています。マルチ栽培の多い当JAは露地栽培と差別化するため、今年から「あかね夕焼け姫」の名称で販売します。また、今年から県がマルチ栽培した「夕焼け姫」を認証する「夕焼け姫のシンボルマーク」（右）を使用します。マークのないものはほとんどが露地栽培のものとなります。出荷に合わせ「あかね夕焼け姫」の記者対応を実施しますのでお越しく下さい。



あいちのみかん
夕焼け姫

JAひまわりのこだわり・生育状況・出荷予定

マルチ栽培とは

ミカン栽培において雨は美味しさを決める重要な要素で、雨が多いと水っぽくなり甘味やうま味が薄れると言われています。タイベックシート（マルチ）を樹の下に敷くマルチ栽培では雨水の浸透を抑制し水分量を調整することで、糖度が向上し、味にコクが出ます。また、害虫忌避、着色向上などの効果もあります。さらに、収穫した「あかね夕焼け姫」は1週間ほど保存して、酸味（クエン酸）を抜くことで、食味の良いミカンとなります。

状況 今年の生育状況は順調で、8月に雨が少なかったため、甘みが凝縮された「あかね」夕焼け姫が出来ています。

出荷予定 当JAの「あかね夕焼け姫」は昨年より少し増えて約1.5トンの出荷量を予定しています。「あかね夕焼け姫」は、主にJAひまわりグリーンセンター豊川・音羽・一宮で12月1日から販売されます

<メディア対応日>

日時：令和2年11月27日（金）9：00 集合

集合場所：JAひまわり東部営農センター（豊川市大木町鑑水 321-2）

当日は営農センターに集合後、車で取材先まで移動します。

対応者：JAひまわりみかん部会の清水貢さん（77）、JA職員、愛知県東三河農林水産事務所農業改良普及課職員など

愛知県夕焼け姫を開発した愛知県は新たに本年、「夕焼け姫シンボルマーク」をつくり、

ブランド化の確立や販売促進に力を入れています。

（愛知県の「夕焼け姫」の特設サイトQR→）

←この様な収穫の様子が撮影できます

お問い合わせ先 JAひまわり 企画課（森田）

TEL：0533-85-3171

